



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年7月31日

上場会社名 日亜鋼業株式会社 上場取引所 東
コード番号 5658 URL <https://www.nichiasteel.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大西 利典
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 沖垣 佳宏 (TEL) 06-6416-1021
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	8,608	5.1	303	△0.6	580	5.0	325	7.7
2024年3月期第1四半期	8,188	4.9	304	11.6	553	△3.7	302	△15.4

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 502百万円(△47.0%) 2024年3月期第1四半期 948百万円(278.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	6.83	—
2024年3月期第1四半期	6.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	74,009	55,510	70.2
2024年3月期	73,605	55,337	70.4

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 51,941百万円 2024年3月期 51,791百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	4.0	—	6.0	10.0
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	4.0	—	6.0	10.0

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,000	1.1	560	△10.7	820	△10.5	430	△12.7	9.01
通期	36,500	5.8	1,700	27.3	2,200	3.5	1,150	△8.6	24.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 一社（社名）、除外 一社（社名）
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期1Q	51,755,478株	2024年3月期	51,755,478株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	4,061,339株	2024年3月期	4,017,273株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期1Q	47,719,703株	2024年3月期1Q	48,363,752株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、地政学的リスク、中国や欧米の景気動向、為替相場等の複合的な要因が相俟って、先行きの不透明な状況が続きました。

線材加工製品業界においては、普通線材製品でフェンス向けを中心に需要低迷が続きました。特殊線材製品では、完成車メーカーの品質認証問題の影響を受けた自動車向けに加え、プロジェクト案件が減少した電力通信向けの需要が振るいませんでした。鉚螺線材製品については、中小物件が停滞したものの、大型物件を中心に比較的堅調に推移しました。

一方で、コスト面では、鉄鋼原料市況の上昇を受けた主原料価格の高騰はもとより、2024年問題に起因する物流費や人件費等も増加しました。

このような事業環境の中、当社グループは、これらのコスト上昇に対する販価転嫁をはじめ、鉚螺線材製品の着実な需要捕捉や普通線材製品の土木プロジェクト案件受注等による販売数量確保、並びにコスト低減対策等を積極的に推進しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は8,608百万円と前年同期に比べ420百万円(5.1%)の増収となりました。

利益面においては、販売価格改善及び販売数量拡大等の増益要因が諸コストの上昇を上回ったものの、在庫評価差等の影響により、営業利益は303百万円と前年同期比横ばい、経常利益は営業外収支の増加により580百万円と前年同期に比べ27百万円(5.0%)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は325百万円と前年同期に比べ23百万円(7.7%)の増益となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

また、セグメント利益は、営業利益ベースの数値であります。

普通線材製品

普通線材を素材とした各種めっき鉄線、また、めっき鉄線を素線とした加工製品からなり、公共土木向けのかご、落石防護網及び民間向けを含めた各種フェンス等に使用されております。

売上高は、販売数量の増加並びに主原料価格等の上昇に対する販売価格の改善により、2,254百万円と前年同期に比べ95百万円(4.4%)の増収となりました。

営業利益は、販売数量増加及び販価改善等の増益要因が、主原料価格上昇及び在庫評価差等の減益要因を上回ったことにより、24百万円と前年同期に比べ4百万円(22.2%)の増益となりました。

特殊線材製品

特殊線材を素材とした硬鋼線、各種めっき鋼線、鋼平線、鋼より線、ワイヤロープ等からなり、自動車向け、電力通信向け及び公共土木向け等、多岐に渡って使用されております。

売上高は、主原料価格等の上昇に対する販売価格改善の一方で、販売数量が減少したことにより、4,237百万円と前年同期に比べ19百万円(△0.5%)の減収となりました。

営業利益は、主原料価格上昇、在庫評価差及び販売数量減少等の減益要因が、販売価格改善等の増益要因を上回ったことにより、75百万円と前年同期に比べ28百万円(△27.7%)の減益となりました。

鉚螺線材製品

鉚螺線材を素材としたトルシア形高力ボルト、六角高力ボルト及びGNボルト等からなり、主として建築向けに使用されております。

売上高は、販売数量の増加並びに主原料価格等の上昇に対する販売価格の改善により、1,951百万円と前年同期に比べ358百万円(22.5%)の増収となりました。

営業利益は、販売数量増加及び販価改善等の増益要因が、主原料価格上昇及び在庫評価差等の減益要因を上回ったことにより、170百万円と前年同期に比べ21百万円(14.8%)の増益となりました。

不動産賃貸

主に賃貸用不動産を所有・経営しております。

売上高は41百万円、営業利益は25百万円と各々前年同期とほぼ横這いとなりました。

その他

めっき受託加工等の売上高は150百万円と前年同期に比べ1百万円(△0.8%)の減収となりました。

営業利益は、7百万円と前年同期に比べほぼ横這いとなりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は74,009百万円となり、前連結会計年度末に比べ404百万円の増加となりました。流動資産は36,588百万円となり、前連結会計年度末に比べ293百万円の増加となりました。これは主に電子記録債権の増加によるものです。固定資産は37,421百万円となり、前連結会計年度末に比べ111百万円の増加となりました。これは主に機械装置及び運搬具の増加によるものです。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は18,499百万円となり、前連結会計年度末に比べ231百万円の増加となりました。流動負債は11,494百万円となり、前連結会計年度末に比べ230百万円の増加となりました。これは主に電子記録債務の増加によるものです。固定負債は7,004百万円となり、前連結会計年度末に比べ0百万円の増加となりました。これは主に繰延税金負債の増加によるものです。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は55,510百万円となり、前連結会計年度末に比べ172百万円の増加となりました。この結果、自己資本比率は70.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2024年5月14日に発表いたしました業績予想からの変更はありません。なお、実際の業績は、需要業界の活動水準や主副原料価格の動向等の様々な要因により、予想数値と異なる場合がありますことをご承知置きください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,455,846	12,249,731
受取手形及び売掛金	6,647,284	6,549,676
電子記録債権	5,681,354	5,907,524
有価証券	202,306	405,882
製品	6,646,109	6,552,811
仕掛品	1,308,033	1,326,438
原材料及び貯蔵品	3,093,096	3,229,638
その他	266,518	371,944
貸倒引当金	△5,609	△5,625
流動資産合計	36,294,939	36,588,022
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,471,206	3,448,298
機械装置及び運搬具(純額)	3,035,654	3,327,316
土地	9,003,482	9,003,482
建設仮勘定	525,498	422,803
その他(純額)	204,513	210,635
有形固定資産合計	16,240,355	16,412,536
無形固定資産		
ソフトウェア	41,738	73,453
ソフトウェア仮勘定	43,480	60,136
その他	2,971	2,963
無形固定資産合計	88,190	136,553
投資その他の資産		
投資有価証券	19,159,944	19,046,329
長期貸付金	8,989	9,134
退職給付に係る資産	422,585	427,937
繰延税金資産	1,036	1,036
その他	1,417,988	1,416,603
貸倒引当金	△28,830	△28,830
投資その他の資産合計	20,981,715	20,872,212
固定資産合計	37,310,261	37,421,302
資産合計	73,605,200	74,009,325

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,151,396	2,814,665
電子記録債務	3,634,920	4,769,889
短期借入金	750,000	750,000
1年内返済予定の長期借入金	1,280,000	1,000,000
未払金	931,898	1,181,015
未払法人税等	422,669	209,578
賞与引当金	339,008	95,769
災害損失引当金	3,470	-
その他	749,784	673,154
流動負債合計	11,263,148	11,494,073
固定負債		
長期借入金	2,110,000	2,030,000
繰延税金負債	2,520,701	2,569,842
役員退職慰労引当金	181,481	175,241
退職給付に係る負債	2,129,495	2,167,551
その他	62,545	62,357
固定負債合計	7,004,223	7,004,993
負債合計	18,267,372	18,499,066
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,720,068	10,720,068
資本剰余金	10,888,051	10,888,051
利益剰余金	25,523,331	25,562,860
自己株式	△1,232,269	△1,246,257
株主資本合計	45,899,181	45,924,722
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,492,889	5,613,530
為替換算調整勘定	259,099	268,431
退職給付に係る調整累計額	140,205	134,470
その他の包括利益累計額合計	5,892,194	6,016,432
非支配株主持分	3,546,452	3,569,104
純資産合計	55,337,828	55,510,258
負債純資産合計	73,605,200	74,009,325

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
売上高	8,188,269	8,608,609
売上原価	6,771,624	7,111,962
売上総利益	1,416,644	1,496,647
販売費及び一般管理費	1,111,814	1,193,640
営業利益	304,830	303,007
営業外収益		
受取利息	43,678	41,642
受取配当金	169,301	179,846
有価証券償還益	-	24,000
太陽光売電収入	17,245	12,713
為替差益	35,987	33,407
雑収入	14,919	17,329
営業外収益合計	281,133	308,939
営業外費用		
支払利息	5,460	4,865
持分法による投資損失	20,361	20,146
太陽光売電原価	5,945	5,332
雑支出	734	644
営業外費用合計	32,502	30,988
経常利益	553,461	580,957
特別利益		
固定資産売却益	29	488
投資有価証券売却益	8,470	-
特別利益合計	8,499	488
特別損失		
固定資産除却損	3,279	24,866
特別損失合計	3,279	24,866
税金等調整前四半期純利益	558,681	556,579
法人税等	195,264	188,722
四半期純利益	363,416	367,856
非支配株主に帰属する四半期純利益	60,675	41,898
親会社株主に帰属する四半期純利益	302,741	325,957

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
四半期純利益	363,416	367,856
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	580,669	120,657
為替換算調整勘定	550	19,978
退職給付に係る調整額	△1,006	△6,084
持分法適用会社に対する持分相当額	4,533	△105
その他の包括利益合計	584,747	134,445
四半期包括利益	948,164	502,302
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	882,307	450,195
非支配株主に係る四半期包括利益	65,856	52,106

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	320,623千円	329,458千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	普通線材 製品	特殊線材 製品	鋳螺線材 製品	不動産 賃貸	計				
売上高									
外部顧客への売上高	2,151,002	4,250,926	1,593,493	41,117	8,036,538	151,730	8,188,269	—	8,188,269
セグメント間の 内部売上高又は振替高	7,763	6,666	—	—	14,429	—	14,429	△14,429	—
計	2,158,765	4,257,592	1,593,493	41,117	8,050,968	151,730	8,202,698	△14,429	8,188,269
セグメント利益	20,339	103,859	148,394	24,705	297,298	6,319	303,618	1,212	304,830

1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、めっき受託加工等を含んでいます。
2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去です。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	普通線材 製品	特殊線材 製品	鋳螺線材 製品	不動産 賃貸	計				
売上高									
外部顧客への売上高	2,245,127	4,219,925	1,951,895	41,113	8,458,062	150,547	8,608,609	—	8,608,609
セグメント間の 内部売上高又は振替高	8,873	17,812	—	—	26,685	—	26,685	△26,685	—
計	2,254,000	4,237,738	1,951,895	41,113	8,484,748	150,547	8,635,295	△26,685	8,608,609
セグメント利益	24,863	75,141	170,294	25,259	295,558	7,268	302,827	180	303,007

1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、めっき受託加工等を含んでいます。
2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去です。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。